



令和7年度 東京都北区立王子桜中学校

王子桜だより

共生の精神に満ち、国際的視野に立ち、大きな夢の実現のために限りなく向上に努める人を育てる。

教育目標 自主 創造 飛翔

令和7年12月 第9号

校長 阿久津 光生

〒114-0002

東京都北区王子 2-7-1

Tel 03-5902-3155

《祝 11月1日（土）創立20周年記念式典が開催されました。》

11月1日（土）午前10時より創立20周年記念式典が本校体育館にて開催されました。秋も深まる中、快晴に恵まれて、北区長 やまだ加奈子様、北区議会議長 青木博子様、北区教育委員会教育長 福田晴一様を始め、多数のご来賓のご列席を賜り、創立20周年記念式典を盛大に挙行することができました。午後の祝賀会は、王子小学校原田校長先生にご協力いただきまして、王子小学校の体育館をお借りして、開催いたしました。改めて感謝申しあげます。この度の20周年記念行事に際し、20周年記念実行委員長 坂場正岳様、本校PTA会長 伊藤雅規様を始め、各町会長の皆様、歴代PTA会長の皆様、並びに本校新旧PTAの皆様、おやじの会の皆様には多大なるご支援・ご尽力をいただきましたことに、心より感謝申しあげます。

午前中の記念式典は、厳粛な中にも、王子桜中学校らしい、心のこもった温かい記念式典になりました。創立20周年を迎えるにあたり、生徒のみなさんは、伝統を創り上げてこられた方々への感謝の心、そして王子桜中とお世話になっている地域のために頑張りたいという未来への決意を、式に臨む姿勢や態度、あるいは歌声や演奏、映像で示してくれました。

祝賀会では、創立20周年にあたり、数々の素晴らしい記念品を頂戴いたしました。大切に使用させていただきます。このような素敵な記念品を頂けることは大変嬉しいことですが、それ以上に何よりも感激しているのは、こうして学校を大切に思ってくださる大勢の皆様の温かい心であります。常に学校の応援団として陰で支えてくださる皆様の真心に、改めて感謝申しあげます。王子桜中を支えていただいている全ての人達への感謝の気持ちを忘れず、次の時代の王子桜中を創り上げるという使命をしっかりと胸に抱き、教職員一同、さらなる努力をしてまいります。



写真提供／日本写真映像株式会社



写真提供／日本写真映像株式会社



《吹奏楽部の皆さん 北区連合音楽会で、実に素晴らしい演奏でした！》

10月28日（火）吹奏楽部のみなさんは、第75回北区中学校連合音楽会、午後の部に出場しました。

一曲目は、オーメンズ・オブ・ラブで、きれいな音色で、リズミカルで迫力ある演奏に、観客席からは、自然と手拍子と拍手がわいてきて、とっても楽しい気持ちになれました。

二曲目は、8月に行われた令和7年度 第65回 東京都中学生吹奏楽コンクール（府中の森芸術劇場 ウィーンホール）で見事、B組で、ゴールド賞に輝いた「リベラ・アニマス」でした。8月のコンクールの再現のような本当に素晴らしい演奏に鳥肌がたちました。演奏が終わった瞬間、圧巻の演奏に、大きな拍手と、「すごい！」という驚きの声があちこちから聞こえてきました。当日の朝も6時から体育館で練習をして、本番に臨むなど、先生と生徒のみなさんが、努力に努力を重ねて創り上げた王子桜中吹奏楽部の偉業を改めて感じることができました。素敵なお演奏を聴かせていただけて本当にありがとうございました。



《演劇部の皆さん 連合学芸会の素晴らしい演技に感動しました！》

10月31日（金）北区滝野川会館大ホールにて開催された令和7年度 第79回 北区中学校連合学芸会で、本校の演劇部のみなさんの素晴らしい演技に感動しました。

演劇部のみなさんは、「わんつーすりーふおーふあいぶしきすせぶんえいとないん…天、使！？」を演じました。天使の仕事は、ループする人間の人生の輪を断ち切り、可能性と希望をもって人を生きさせること。でも、その仕事を怠けていた天使がいます。そのため、その天使の担当した人間は犯罪を犯すようになりました。自暴自棄になっている男の前に反省した天使は現れます。男の人生はどうなっていくのか。

迫真の演技で大舞台に声が響きわたり、音響、照明も前々日のリハーサルで試行錯誤を繰り返した成果が見事に現れ、前半笑いあり、後半は涙が止まらない感動的な素晴らしい舞台発表でした。お疲れ様でした。



《祝 英語スピーチ3年生近藤さん、英語スピーチ第3位おめでとうございます！》

10月31日（金）北区滝野川会館大ホールにおいて開催された令和7年度 第79回 北区中学校連合学芸会 英語の部では、3年生近藤さんが、各校の代表12名のなかで、見事第3位に入賞しました。本当にすごいことです。おめでとうございます。

近藤さんの英語スピーチは、美しい発音と流暢な英語で、表情豊かでジェスチャーも自然で、とっても素敵でした。

「From Screens to Scene why Reading still Reign」（スクリーンから情景へ、なぜ読書が今なお必要なのか）と言うタイトルで、近藤さんがスピーチをしました。その中で、「読書は単なる趣味でなく、私たちの将来、より良い大人へと成長させるための重要な教訓を授けてくれる、いわば教師のような存在。読書を通じて、私たちの人生をより豊かなものにしていきましょう。」という非常に高尚なメッセージを発表してくれました。

会場でご覧になられた方に、さすが、子供の読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰という名誉ある賞をいただいた学校の生徒さんですね、とお褒めの言葉をいただきました。審査員の先生も大絶賛でした。近藤さんも発表会までの練習が大変だったと思います。とっても素敵な英語スピーチを聴かせていただけて本当にありがとうございました。



《祝 薬物乱用防止ポスター・標語 1年生の平さんのポスターが地区会長賞、3年生の二宮さんの標語が地区特別賞を受賞 おめでとうございます！》

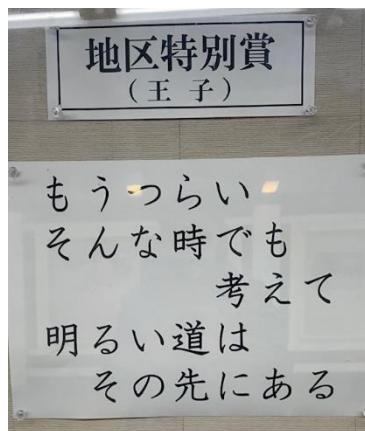
令和7年度薬物乱用防止ポスター・標語で、1年生の平さんのポスター作品が最高賞の地区会長賞に、3年生の二宮さんの標語作品が、地区特別賞を受賞しました。本当におめでとうございます。

作品は、11月12日(水)～25日(火)まで、王子カルチャーロードギャラリーに展示されます。みなさんもぜひご覧ください。

令和7年度薬物乱用防止標語部門 地区特別賞

3年生 二宮さん

「もうつらい そんな時でも 考えて
明るい道は その先にある」



平さんの受賞した地区会長賞は応募総数 1018 点のポスターの中で、6 点しか与えられない最高賞にあたります。二宮さんの受賞した地区特別賞も、応募総数なんと 1999 点の標語の中で、14 点しか選ばれない素晴らしい賞です。お二人とも本当におめでとうございます。また、今回、王子桜中は、標語部門で保健委員会のみなさんが応募してくれたおかげで参加作品数が多く、感謝状もいただけましたことになりました。本当にありがとうございました。



《園芸ボランティア部の活動が北とぴあ1階区民プラザで紹介されました！》

王子桜中園芸ボランティア部の活動が1階区民プラザで開催された北区環境展で紹介されました。

「北区環境展」とは、北区で活動するNPO・ボランティア団体や学校、法人、企業、行政などが協力して、子どもたちが楽しみながら自然や環境について学び、地域とのきずなを深めてもらうことを目的に開催しているイベントです。平成18年から毎年開催し、20回目となった今年は、10月18日(土)、北区立滝野川小学校で開催されました。王子桜中は、園芸ボランティア部の活動が様々な分野で高く評価されて参加しています。

滝野川小、浮間小、王子桜中の3校の作品が11月6日(木)～12日(水)まで北とぴあ1階区民プラザで展示されました。



《祝 ソフトテニス部女子個人戦、都大会出場》

10月26日(日)江東区有明テニスの森で開催されたソフトテニス女子の都大会に、先月の北区大会個人戦で見事に優勝した屋宮さん・堀内さんペアが出場しました。都大会出場本当におめでとうございます。都大会で小雨の降る肌寒い中、強豪校相手に大いに健闘し、今までの努力の成果を、思う存分発揮した素晴らしい試合でした。これからも頑張ってください！



《祝 ソフトテニス部女子団体戦 都大会出場》

11月16日(日)江東区有明テニスの森で開催されたソフトテニス女子の都大会に、先月の北区大会団体戦で見事に2位になった女子ソフトテニス部が都大会に出場しました。都大会出場本当におめでとうございます。

肌寒い中、強豪校相手に大いに健闘し、今までの努力の成果を、思う存分發揮した素晴らしい試合でした。これからも頑張ってください！



《祝 卓球部 男子団体3位 都大会出場権獲得！女子個人も3名都大会出場権獲得！おめでとうございます。》

11月9日(日)北区卓球秋季大会が赤羽体育館で開催されました。王子桜中卓球部男子は、団体戦で見事、3位に入賞し、都大会出場権を獲得しました。女子も個人戦で、2年生金城さん、梅山さん、1年生鈴木さんの3名が都大会出場権を獲得しました。本当におめでとうございます。都大会も頑張ってください。



《祝 男子バレーボール部 都大会出場》

11月16日(日)バレーボール秋季都大会が開催され、王子桜中男子バレーボール部は、大田区立貝塚中学校体育館で行われた都大会に出場しました。都大会出場おめでとうございます！試合は、大田区立貝塚中学校と対戦しました。アウェイでの試合でしたが、遠方まで、大勢の保護者の皆様が応援に来てください、大いに奮闘しました。今後の活躍がとっても楽しみなチームです。生徒のみなさん、保護者のみなさん本当にお疲れ様でした！



《祝 3年生小林(凜)さん 第22回創造ものづくり教育フェア in TOKYOで第3位！3年生嶋方さん、仲西さん、2年生山梨さん、1年生田中さんが奨励賞！おめでとうございます！》

東京都中学校技術・家庭科研究会主催の「第22回創造ものづくり教育フェア in TOKYO」生徒作品コンクール家庭I部門において3年生小林(凜)さんが見事、3位に入賞しました。また、3年生嶋方さん、仲西さん、2年生山梨さん、1年生田中さんが奨励賞を受賞しました。とっても素晴らしいことです。おめでとうございます。



《海外派遣生徒のみなさん、頑張ってきました！》

11月11日(火)～21日(金)の期間、本校2年生代表5名(田中さん、原田さん、ト部さん、亀田さん、川畑さん)がアメリカ合衆国・カリフォルニア州ウォルナットクリーク市を訪問してきました。派遣中、現地の学校・セブンヒルズスクールへの体験入学をはじめ、ウォルナットクリーク市長訪問や現地ラスロマス高校で日本語を学ぶ高校生との交流を行ってきました！またこの間派遣生は、セブンヒルズスクールの8年生生徒(日本の中学2年生に相当)の自宅でホームステイ生活を送りました。アメリカの中学生との交流やホームステイを通して、滞在国の学校や家庭生活、自然や文化、風俗や習慣などに触れることができました。

派遣生の皆さんの海外派遣事業の成果報告会を楽しみにしています。

【 IHI の躍進 】

【 IHI の躍進 】

IHI は、創業から 170 年以上、造船で培った技術をもとに事業を拡大し、今では「資源・エネルギー・環境」「社会基盤」「産業システム・汎用機械」「航空・宇宙・防衛」の 4 分野で事業を展開しています。日々の生活を支える製品から、宇宙の領域まで新たな価値をつくりだしているのです。

1 資源・エネルギー・環境

産業の発展、豊かな生活に欠かせないエネルギーを、地球にやさしい方法で生み出す IHI の製品・サービス、たとえば、CO₂を排出せず、太陽の光だけで地域に必要な電気をまかなく「エネルギーの地産地消」を推進中。

福島県相馬市と共同で開設した「そうま IHI グリーンエネルギーセンター」では、一般家庭の約 500 世帯分に相当する電力をつくり、地域内で利用しています。

3.11 東日本大震災以降はこれら原子力発電設備の耐震対策、津波対策、テロ対策等の安全性向上工事に注力する一方で、原子力発電設備の廃炉にも積極的に取り組んでいます。

2 社会基盤

世界中のひとと社會にとって「要」となる社会インフラ。橋梁・トンネルを軸に、長年の実績で培った技術力と豊かな感性で、安全・安心な社会インフラの実現に貢献しています。

たとえば橋の架け替え・補修技術でインフラの長寿命化を助けています。そのままだと数年で寿命を迎える橋が、適切な補修・補強によって數十年の使用が可能に。人々が安心して住み続けられる街づくりに、IHI の技術が役立っています。

国内では、明石海峡大橋をはじめ主要長大橋梁工事に参画。海外でも世界第四位の吊橋、オスマン・ガーズィー橋(トルコ)などを建設し、多くの実績を積み重ねている橋梁事業。水門事業においては、日本のトップメーカーとして、国内外で利水・治水事業における建設に貢献しています。

また、トンネル工事では、大幅な合理化を図れる各種のシールド掘進機を開発・実用化しています。

3 産業システム・汎用機械

物流システムの分野では、人手不足解消のため「省人化・無人化」をテーマに、AI による画像認識を採用したデパレタイズ(荷下ろし)システムの開発に参画し、これにより作業効率向上に貢献。今後はさらに物流システム全体の省人化・無人化の実現を目指しています。

パーキング

1962 年に日本で最初のタワーパーキングを納入して以来、IHI パーキングシステムは長年の経験と信頼、そして独自の技術力でパーキングシステムの完成度を高めてきました。

過給機

内燃機関において吸入した空気を圧縮して送り込む装置の過給機は、大型の舶用・陸上発電用エンジンから小型の自動車エンジン用までをシリーズで供給しています。

自動車用の過給機はすでに1億台以上を生産。米国、欧州、タイ、中国にも開発、生産、販売拠点を持ち、ワールドワイドに事業を展開しています。

回転機械

世界トップシェアを誇る LNG ボイルオフガス用コンプレッサーや国内トップシェアのターボコンプレッサー、化学・食品製造工程での固液分離プロセスに欠かせない分離機・濾過機など、日本だけでなく、世界各地でもプラントの稼働を支えています。



豊洲 IHI 本社ビル



オスマン・ガーズィー橋(トルコ)

【IHI ホームページより引用】

4 航空・宇宙・防衛

空、宇宙、防衛の未来を切り拓く。

航空エンジン、ロケットシステム・宇宙利用、防衛機器システムなどを手がけています。航空エンジンのリーディングカンパニーとして空の交通を支え、宇宙開発分野ではロケットエンジンの心臓部「ターボポンプ」や次世代ロケット「イプシロン」の開発・製造を行っています。

20年後には約2倍の航空機が必要になるといわれています。私たちは新素材を用いてエンジンの大幅な軽量化・低騒音化を実現することで、環境負荷の軽減に貢献しています。

IHI は日本のジェットエンジン生産の約7割を担うリーディングカンパニー。防衛省が運用する航空エンジンの開発・生産を主契約者として担い、戦闘機用は全機種を担当しています。

また、民間航空エンジン事業では国際共同開発に参画。エンジンモジュールや部品を開発、供給しています。

ロケットシステム・宇宙利用

IHI は日本の宇宙開発に当初から参画。IHI が誇る最先端の技術をもとに、ロケットエンジンの心臓部、ターボポンプやガスジェット装置の開発、生産に取り組んできました。

宇宙ステーションの建設では、日本実験棟「きぼう」の船外実験プラットフォームなどの開発、生産において重要な役割を担うとともに、宇宙環境利用では各種国際共同実験に主要な実験システムを供給しています。



イプシロンロケット試験機打ち上げリハーサル

【写真提供 宇宙航空研究開発機構（JAXA）】

5 IHI i-muse

i-muse は IHI の創造と挑戦の歴史をお客様や地域の皆様、次代を担う若い世代に知ってもらうため 2006 年に開館、そして 2018 年にリニューアルオープンしました。i-muse の展示を通して、IHI がものづくりにかけた情熱の軌跡にふれることができます。IHI の前身となる石川島造船所は、浦賀沖に黒船が来航した 1853(嘉永 6)年、近代日本の夜明けとともに誕生しました。それから 150 年余、IHI はエンジニアリングの最先端に立ち、造船・陸上機械・プラントから航空・宇宙まで、さまざまな分野で新しい時代を切り拓いてきました。



6 気候変動への適応

事業継続のための災害への備え

IHI グループは、平時・災害時の組織体制や実施すべき事項について規程に定め、大規模地震や台風、その他の風水害などの災害の発生に備えています。

危機管理

製品・サービスによる防災・減災 IHI グループは、安心・安全で暮らしやすいコミュニティの実現を目指し、自然災害に強くかつ経済的なインフラの整備、人的被害を最小化する災害・被害予測とインフラ制御を統合するシステムの構築を進めています。

インフラ整備としては、橋梁を中心としたインフラに対する高度保全の知見やセンシング技術・モニタリング技術を活用して、適時適切な保全事業を展開しています。災害による人的被害や経済損失を最小化するために、気象情報や災害に関連するセンシングデータから災害を予測し、地域インフラ（ダム・水門・排水機場などの河川管理施設、樋門などの農業水利施設）を最適に制御する「統合治水管理」を行います。

また、災害からの復旧に役立つ製品やサービスで、短期間で日常を取り戻すことに貢献しています。

IHI グループは、地球環境とそこに暮らす人びとが持続可能であるために、自然の脅威から人びとを守り、安心・安全で豊かに暮らすことができる社会「自然と技術が調和する社会」を創ることを目指し大きな躍進し続けています。

i-muse で分かりやすく丁寧に教えていただきました。【写真協力 IHI】